

南丹市地域公共交通会議
議 事 録

南丹市地域公共交通会議 事務局
(南丹市地域振興部地域振興課)

南丹市地域公共交通会議
(令和5年8月22日開催) 議事録

1. 招集年月日 令和5年8月1日(火)
2. 開催年月日 令和5年8月22日(火) 10時10分～10時35分
3. 開催場所 南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」3階大研修室
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
 - (1) 委員の総数 23名
 - (2) 出席者数 19名
 - (3) 出席した委員の氏名 別紙出欠状況のとおり
5. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

司会	<p>皆様方にはご多忙の中、出席いただき誠にありがとうございます。定刻となりましたので南丹市地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>進行を務めさせていただきます、地域振興部長の平井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>開会にあたり、南丹市長西村良平よりごあいさつを申し上げます。</p>
西村市長	<p>南丹市長の西村でございます。さて、路線バス、タクシー、或いは福祉の有償運送などがございますが、なかなかこれだけ広いエリアに、乗車密度がどうしても低くなります。南丹市、人口が集中してるところはあまりございません。全体に散らばってお住まいいただき、しかも高齢化をしており、免許返納された方、高齢者の方も多いい中で、同時にそれぞれの皆さん方の移動手段というのをしっかり確保していくことは、満足いただける状態までなかなかいかないわけでございますが、しかしながら限られた財源なり、或いは資源の中で、できることをしっかり取り組んでいこうということで、この会議についても公共交通の基本的な考え方っていうのをここでまとめていただき、具体的な施策に反映をしているところでございますので、引き続いて皆様方にはよろしくお願いをしたいと思っております。</p> <p>最近大きな出来事があったのは、やはり西日本JRバスですね。園福線といいます園部から福知山まで走っておりますが、朝見て</p>

おりますと園部駅からかなりの方が京丹波の方に向いてご乗車をいただいておりますし、また企業が独自に園部の駅からバスを運行されておると。企業の送迎バスですね。そんな姿も見つかる中でこれは大変だな。また、この南丹市だけじゃなくて若い人たち、須知高校へ通ってる子どもさんもおいででございます。これもなかなか大変でございますし、何とかということで、皆様方の思いも受け止めながら、JRバス本社、大阪阿倍野まで要望に参りましたが、なかなかうまくいかないところで、これをなくすわけにいかないということで、民間のバスを立ち上げていこうと。もちろん南丹市にとっても大きな財政的な負担になるわけですが。南丹市の中京交通とか、或いは舞鶴・福知山に営業所を置いているバス会社の京都交通、その2社で路線を繋いでいただくことになりました。どのようなダイヤになるかというのは、これからでございます。途切れないように繋いでいくということで努力をいただいております。さらにJR、減便ですね。コロナが原因だからコロナが収まれば戻るもんやと誰もが思ったんですが、そうならなかったということで。これは今年の2月以降、3回ほど大きな取り組みもいたしました。決起集会、また京都府への知事への要望でございますとか、或いはJR本社のダイヤを組む、その責任者に向けて、国会議員もお越しいただいて大要望をいたしました。少し手ごたえがありましたが、すぐさま元に戻るという気配はなかなか見えないところですが一日も早く、ちょっとでも復元して欲しい。そんなことも大きな課題として挙がっておりますが、公共交通を取り巻く課題解決、改善に向けて、今年度は地域公共交通計画を策定するために、前回の会議において南丹市地域公共交通活性化協議会も立ち上げていただき、この後、第二部でお世話になるというふうに思っておりますし、委員の皆様にはさらにお力添えをいただきたいと思いますと思っております。

本市にとって最も望ましい交通体系を委員の皆様にご議論いただき、公共交通施策の基本となるべき地域公共交通計画に盛り込んでいただきたいと思いますと考えておりますので、何卒ご審議賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

結びにあたりまして、委員の皆様には今後とも、南丹市のよりよい公共交通の構築に向けて、ご尽力をいただきますようお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶に代えさせていただきます。本日は大変お世話になります、ありがとうございます。

司会	<p>次に、新たに委員としてご就任いただきました皆様方をご紹介します。お手元の公共交通会議の資料の中ほどにあります、委員名簿をご覧くださいと思います。</p> <p>京都大学大学院 工学研究科 准教授 松中亮治様です。</p> <p>南丹市PTA連絡協議会 理事 荻野真吾様です。なお、荻野様につきましては本日ご欠席で連絡をいただいております。</p> <p>それではこの2名の委員さんを代表いただきまして、松中様に委嘱状の交付をさせていただきます。</p>
市長	<p>【委嘱状交付】</p> <p>大変お世話になります。よろしく願いいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。また松中様、荻野様には他の委員の皆さまと同様に南丹市地域公共交通活性化協議会の委員を兼務していただくこととなりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、仲村学市議会議員、八木町選出の橋本委員、南丹市PTA連絡協議会選出の荻野委員と殿田中学校の世木校長先生が欠席となっております。また京阪京都交通株式会社 阪本委員の代理として町田様に、南丹広域振興局企画・連携推進課長平委員の代理として押坂様に、南丹市教育長國府委員の代理として柴田次長にご出席いただいております。</p> <p>以上、本日の会議については委員数23名のうち代理を含め19名ご出席いただいておりますので、条例第6条第2項により本会議が成立していることを報告いたします。</p> <p>開会にあたりまして前田会長からご挨拶をいただきます。</p>
前田会長	<p>皆さん大変暑い日が続いております。</p> <p>本日は南丹市地域公共交通会議にお忙しい中ご出席賜りまして大変ありがとうございます。</p> <p>公共交通に関しましては全国的な課題ではございますけれども、利用者の減少、そして営業等のコストの増加によりまして、公共交通維持がだんだんどんどん難しくなっております。先ほども市長のお話がありましたように、鉄道ではダイヤ改正に伴う減便があったり、また、路線バスは園部駅と福知山間を走る園福線についても、現在の運行事業者の西日本JRバスが撤退するということが、本市においても公共交通を巡る状況が大変厳しいものとなっております。</p> <p>またJRバスにおいては、これも先ほどお話があったんですけど</p>

	<p>ども、設置主体が連携しまして代替事業者の確保に努めていくと聞いております。</p> <p>交通に関する諸問題につきましては、今までとは考えられないことがおきておまして、この状況を少しでも改善していかなければならないと思っております。</p> <p>地域公共交通会議と前回の会議において立ち上げをいただきました地域公共交通活性化協議会において、委員の皆様の議論を重ねて、本年、地域公共交通計画を策定し今後よりよい交通網の形成を図りたいと思っております。</p> <p>本日は公共交通会議、そして活性化協議会ということで二つの会議があり少し長くなると思いますが、どうぞよろしくお願いたしまして最初にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>西村市長につきましては他の公務のためここで退席をいたします。</p> <p>それでは会議の議事に入りますので、条例第6条第1項に基づき会長に進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは議案に入りたいと思います。議案、ぐるりんバス摩気・園部東部線の運賃改定についてでございます。事務局からの説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【配布資料確認】</p> <p>それでは議案の説明に移らせていただきます。</p> <p>ぐるりんバス30号系統摩気・園部東部線の運賃改定について説明いたします。</p> <p>30号系統運賃均一化についてです。ぐるりんバスの他路線は全線150円均一で運行しておりますが、唯一30号系統摩気・園部東部線のみ、300円、450円と運賃が区域をまたがるごとに加算されております。運行開始当初の設定料金を継続してきましたが、他路線の距離あたりの運賃と比較しても高額となることから、更なる利用旅客増を求める観点からも運賃均一化を行うものです。</p> <p>現行運賃体系の説明です。現在は園部駅西口を起点とし、船岡地域、川辺地域の松尾バス停以降において初乗り150円から300円に値上がりになります。</p> <p>摩気線になります。園部駅西口を起点とし、半田センター以降で</p>

	<p>初乗り150円から300円となっております。</p> <p>現行設定運賃の説明になります。摩気・園部東部線の半田・口司方面の現行の運賃を掲載しており、150円と300円の料金設定になります。</p> <p>園部町高屋・佐切方面で、150円、300円、450円と段階をふんだ料金となっております。</p> <p>現行の説明報告になります。資料3他路線との運賃比較（具体例）で他路線との運賃比較を行っております。こちらで確認させていただくと摩気・園部東部線については区間距離5.4kmや6.7kmで300円ということになっておるんですけど、同じぐるりんバスで運行しております西本梅スクール癒しの森線については区間距離8.4kmであったり8.5kmの場合でも150円。50系統の新光悦村線については区間11.1kmで150円というかたちになっておりまして、他の区間と比較した場合にちょっと整合がとれないような運賃体系となっております。</p> <p>均一化運賃による影響ということで、直近の乗車実績というかたちになります。5月9日、11日、14日の3日間調査を行いまして、赤字のところは運賃改定の部分の対象の路線になるんですけど、こちらについては3日間で6名程度の利用ということでございました。</p> <p>最後に、運賃値下げ、運賃均一化による影響でございます。運賃均一化を行おうとする、いま紹介させていただいた停留所では、直近の乗車実績もあり、その利用目的は買い物や通院等の生活交通としての利用であることが考えられます。運賃の均一化によりまして現行利用旅客の利便は現状よりも向上し、うち値下げによるさらなる旅客需要の開拓を見込まれるところでございます。</p> <p>また、現行の利用実績を確認したところ、現行よりも値下げが生じるものの、当該路線の大幅な収入減は考えにくい状況でございます。結果的には利用旅客の増加による収入増に繋がるものと考えられます。</p> <p>以上ぐるりんバスの運賃体系の均一化についてご提案をさせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いたします。</p>
会長	説明が終わりました。ただいまの説明につきましてご質問、またはご意見ありますでしょうか。
委員	一点だけ参考にお伺いしたいんですけども、他の路線がすべて均一な150円、この路線だけはこういった運賃体系にもとも

	となっていたということなんですけども、こうなっていたそもそもの経緯とかがもしわかれば参考に教えていただきたいなと思います。
事務局	<p>こちらにつきましては、平成17年の運行開始当初からの運賃体系を継続しているものでございます。</p> <p>一点としましては、運行開始当時は3路線がございまして、その中の市街地循環線及び摩気・園部東部線については、当初から150円均一料金というかたちで運行し今まで継続を行っていたものでございます。申し訳ないです。10数年前の部分でちょっと確認等が出来てなくて確実なことではないんですけれども、おそらく旧小学校区等をはさむ部分もあって、摩気・園部東部線のみは、循環型ではなくて一方向の路線であった部分もかんがみて、その路線のみは距離制運賃、距離によって増加する運賃を適用していた部分があったのではないかと考えております。</p> <p>今回についてはもうこの部分は平成28年度における小学校の統廃合等も勘案して、運賃体系のみがこれまで通りで残ってた部分があるので、そういった部分も含めて是正を行うものでございます。以上です。</p>
会長	説明が終わりました。いかがでしょうか。
委員	要は他の公共交通に特に影響なければ問題ないと思ってるんですけども、そのような理解でよろしいです。すいませんちょっと土地勘がないもので申し訳ないです。
事務局	現行路線の区間につきましては、他の公共交通路線と料金上でこの値下げによって競合するところは無いものとしております。なので他の路線に対しての影響を及ぼす、値下げによる影響を及ぼすものではないという判断で進めております。
会長	<p>他にご意見ございませんでしょうか。</p> <p>それでは意見がないようですので議案の表決を行います。恐れ入りますが、賛成の方は挙手をお願いいたします。</p>
	挙手
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員全員の賛成をいただきましたので、ぐるりんバス摩気・園部東部線の運賃改定については可決されました。</p> <p>議案は以上となりますが、その他について何かご意見等がありましたらお伺いしたいと思います。</p>
委員	今の運賃の件は了承なんですけど、関連して摩気線なんですけ

	<p>ども、口司まで西口からいってますけれども。西口から口司までは4本走っているんですけれどもね。一方この口司から西口へ向かうバスは2本なんです。できればこれを機に乗降客を増やすという観点からですね、口司から西口へ行くバスを4本に増やすということはできないものかどうか、その辺ちょっと要望を含めてですね、事務局の方の対応をお聞かせいただきたいなと思うんですけど、いかがでございましょうか。</p>
事務局	<p>現行の園部駅～口司方面については確かに行く本数と帰る本数で異なるところがございまして、ここの部分についてはおそらく回送運行、車両の配車ですね、他路線へのまわし等々の関係もあって現行ではその体制となっているというところがございます。ぐるりんバスの部分については、また運行事業者等と密に連携しまして、今委員からおっしゃっていただいたことが可能であるのかどうかということも含めて、事業者と共有していこうと思っておりますのでそのようなかたちで報告をさせていただきます。以上でございます。</p>
委員	<p>運行事業者と協議したいということでございましたけれども、これを機にぜひ乗降客の増加をですね、図っていくという観点からも口司から西口へ向かうバスを西口から口司へ向かうバスと同様4本に増やしていただくように強く要望したいと思います。</p>
会長	<p>現行の西口行きを2本から4本にすることを要望することです。事務局の方も検討のほど協議をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>それでは無いようでございますので、以上をもちまして議事を終了いたします。委員の皆様ありがとうございました。</p>
司会	<p>前田会長様、円滑な議事進行ありがとうございました。この南丹市公共交通会議はこれで閉会させていただきます。引き続き、南丹市地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。</p>